

桐生商工会議所管内  
景況調査報告書

第136回

(2022年1～3月期)

令和4年5月

桐生商工会議所  
桐生中小企業相談所

# 調 査 要 領

1. 調査目的                      本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
  
2. 調査時点                      2022年3月1日
  
3. 調査期間                      2022年1～3月期
  
4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数146企業）
  
5. 調査対象業種
  - ①建設業（回答企業数23企業）  
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他
  
  - ②商業・サービス業（回答企業数64企業）  
卸売業、小売業、飲食業、サービス業
  
  - ③製造業  
機械金属関連業（回答企業数32企業）  
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他  
  
繊維工業（回答企業数27企業）  
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

## 1. 景況の動き

### 【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-30**。前期（-20）比は**-10**ポイントとなった。また前年同期（-48）比では**+18**ポイントとなった。

業種別では、**建設業+4**（前期比+31、前年同期比+10）、**商業・サービス業-56**（前期比-21、前年同期比+8）、**機械金属製造業-3**（前期比-17、前年同期比+14）、**繊維製造業-26**（前期比-14、前年同期比+44）となっている。

### 【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-39**。前期（-28）比は**-11**ポイント、前年同期（-51）では**+12**ポイントとなった。

業種別では、**建設業-43**（前期比-3、前年同期比-18）、**商業・サービス業-59**（前期比-19、前年同期比+8）、**機械金属製造業-4**（前期比-11、前年同期比+9）、**繊維製造業-22**（前期比+1、前年同期比+48）となっている。

### 【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-19**。前期（-17）比では**-2**ポイント、前年同期（-41）比では**+22**ポイントとなった。

業種別では**建設業-10ポイント**（前期比+26、前年同期比+33）、**商業・サービス業-32ポイント**（前期比-18、前年同期比+23）、**機械金属製造業+16ポイント**（前期比+16、前年同期比-5）、**繊維製造業-32ポイント**（前期比-8、前年同期比+27）となっている。

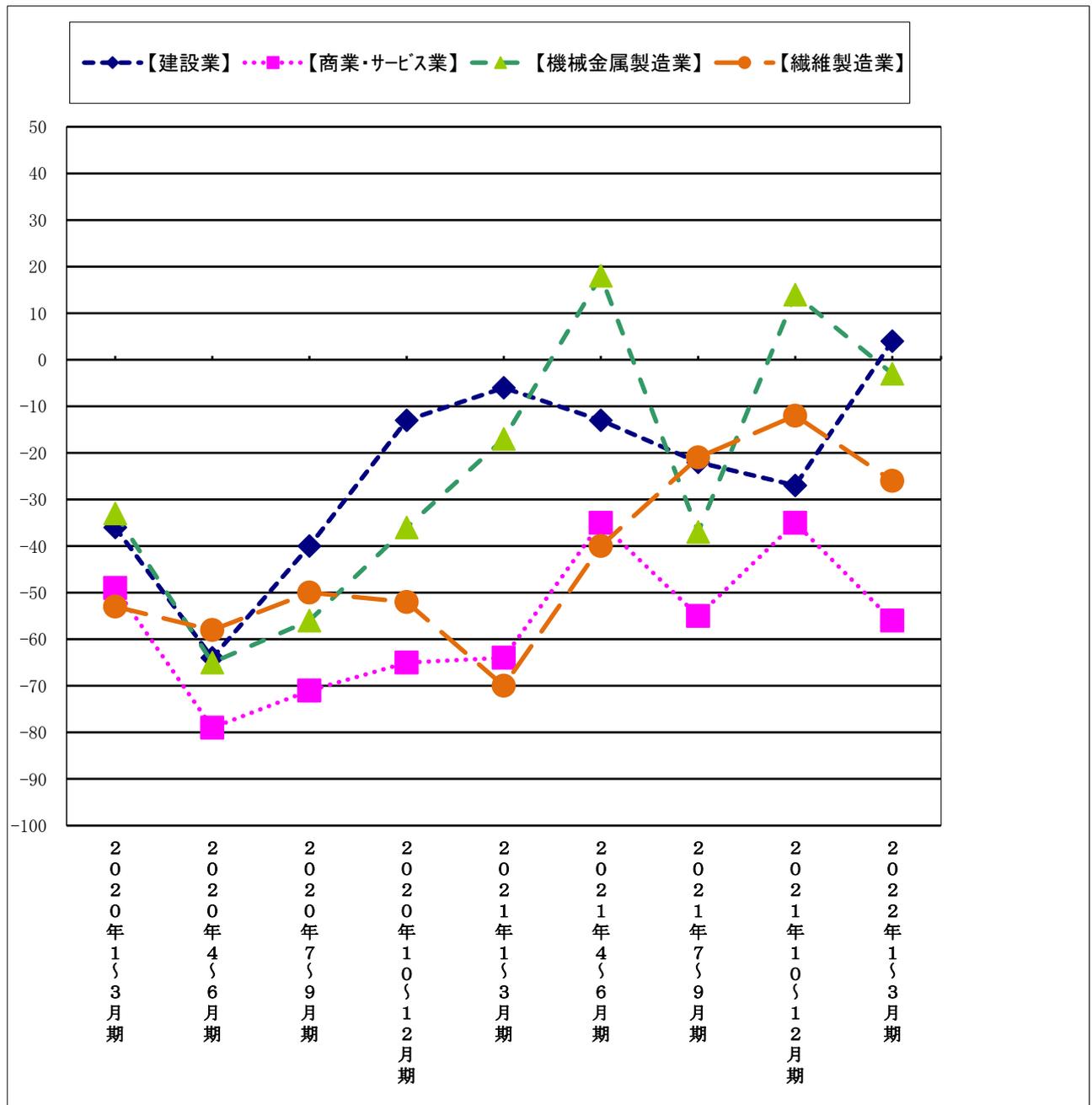
### 【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（20.0%）「材料の入手難」（16.7%）、**商業・サービス業**では「需要の停滞」（16.5%）「材料等仕入単価の上昇」（16.5%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（23.3%）「製品単価の低下・上昇難」（11.6%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（21.3%）「原材料価格の上昇」（21.3%）が上位となっている。

## 業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年1～3月期	-36	-49	-33	-53
2020年4～6月期	-64	-79	-65	-58
2020年7～9月期	-40	-71	-56	-50
2020年10～12月期	-13	-65	-36	-52
2021年1～3月期	-6	-64	-17	-70
2021年4～6月期	-13	-35	18	-40
2021年7～9月期	-22	-55	-37	-21
2021年10～12月期	-27	-35	14	-12
2022年1～3月期	4	-56	-3	-26

[2020年1～3月期] から [2022年1～3月期]



## 2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

### 【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは+4**。前期比は+31、前年同期比では+10ポイントとなった。  
業種別では**建築・大工業 [+9]**、**土木業 [±0]**、**管工事業[±0]**、**鉄骨・鉄筋業 [±0]**、**電気工事業[+25]**、**その他 [-25]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-10**。前期比+26、前年同期比では+33ポイントとなっている。

### 【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-56**。前期比は-21、前年同期比では+8ポイントとなった。  
業種別では、**卸売業 [-100]**、**小売業 [-64]**、**飲食業 [-20]**、**サービス業では [-53]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-32**。前期比-18、前年同期比では+23ポイントとなっている。

### 【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-3**。前期比では-17、前年同期比では+14ポイントとなった。  
業種別では、**鉄鋼業 [±0]**、**非鉄金属業 [-100]**、**金属製品業 [+40]**、**一般機械器具業 [-33]**、**電気機械器具業 [±0]**、**輸送用機械器具業 [-33]**、**精密機械器具業 [+50]**、**プラスチック製造業 [+14]**、**その他 [-50]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+16**。前期比+16、前年同期比-5ポイントとなっている。

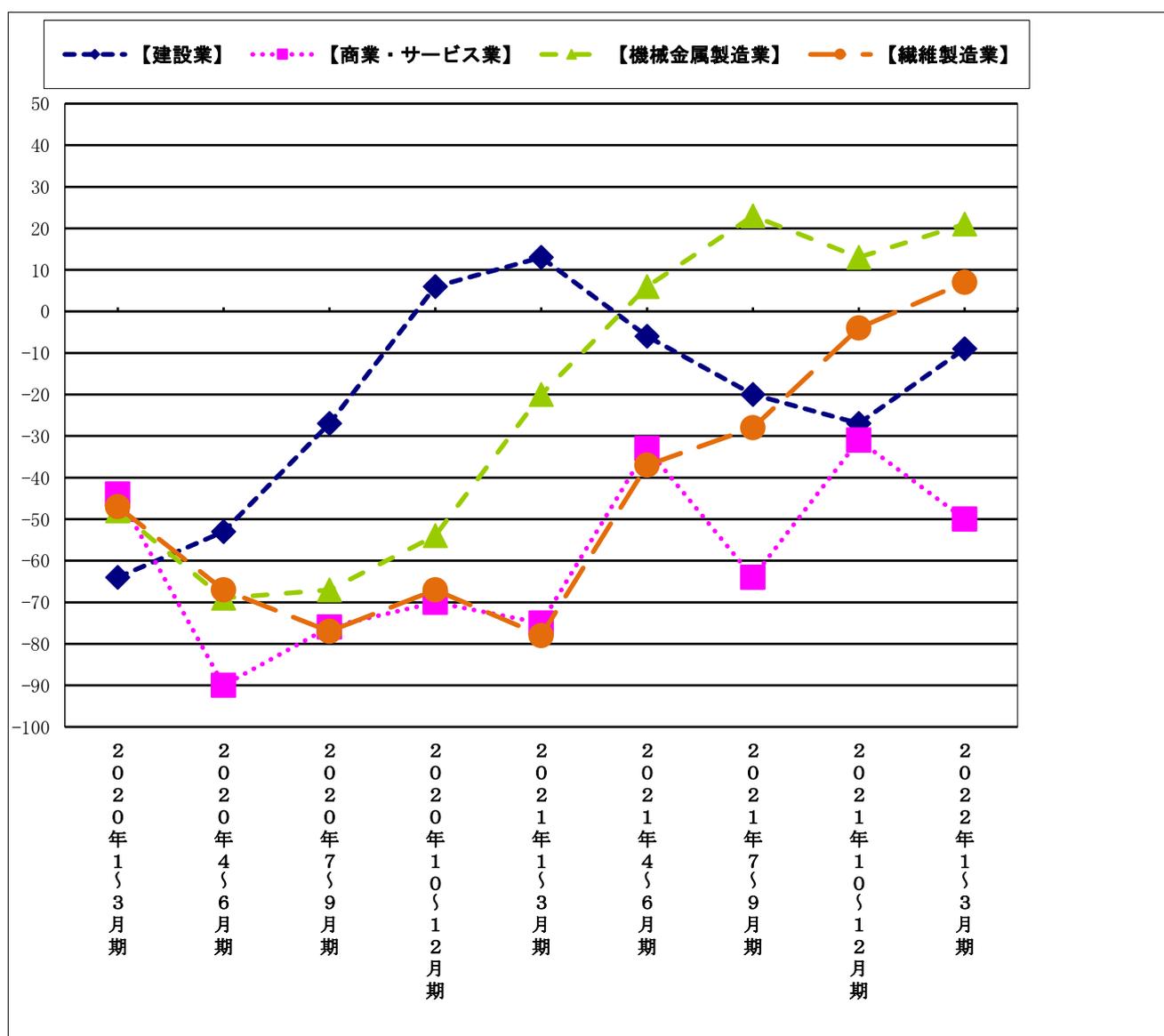
### 【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-26**。前期比では-14、前年同期比では+44ポイントとなった。  
業種別では、**織物業 [-9]**、**染色整理業 [-50]**、**ニット・メリヤス業 [-100]**、**レース業 [-50]**、**縫製業 [±0]**、**刺繍業 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-32**。前期比-8、前年同期比では+27ポイントとなっている。

## 売上額（完成工事額）DIの推移

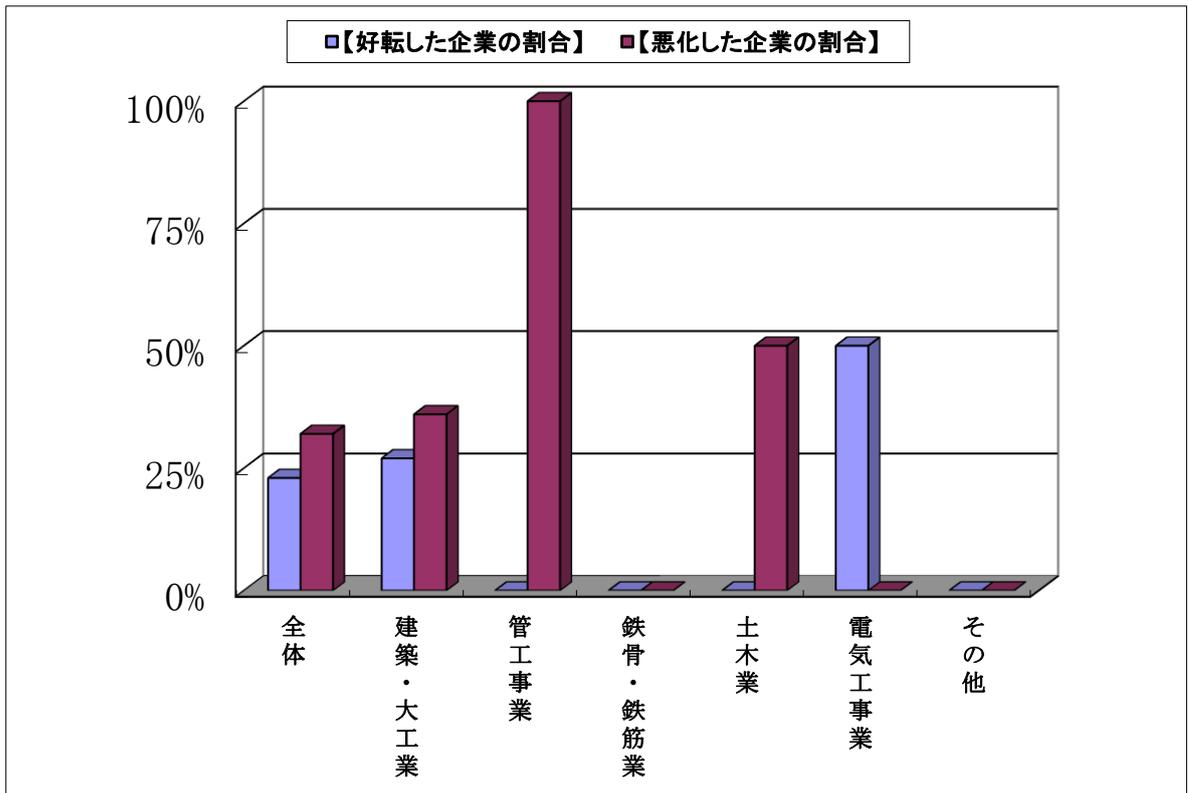
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年1～3月期	-64	-44	-48	-47
2020年4～6月期	-53	-90	-69	-67
2020年7～9月期	-27	-76	-67	-77
2020年10～12月期	6	-70	-54	-67
2021年1～3月期	13	-75	-20	-78
2021年4～6月期	-6	-33	6	-37
2021年7～9月期	-20	-64	23	-28
2021年10～12月期	-27	-31	13	-4
2022年1～3月期	-9	-50	21	7

[2020年1～3月期] から [2022年1～3月期]

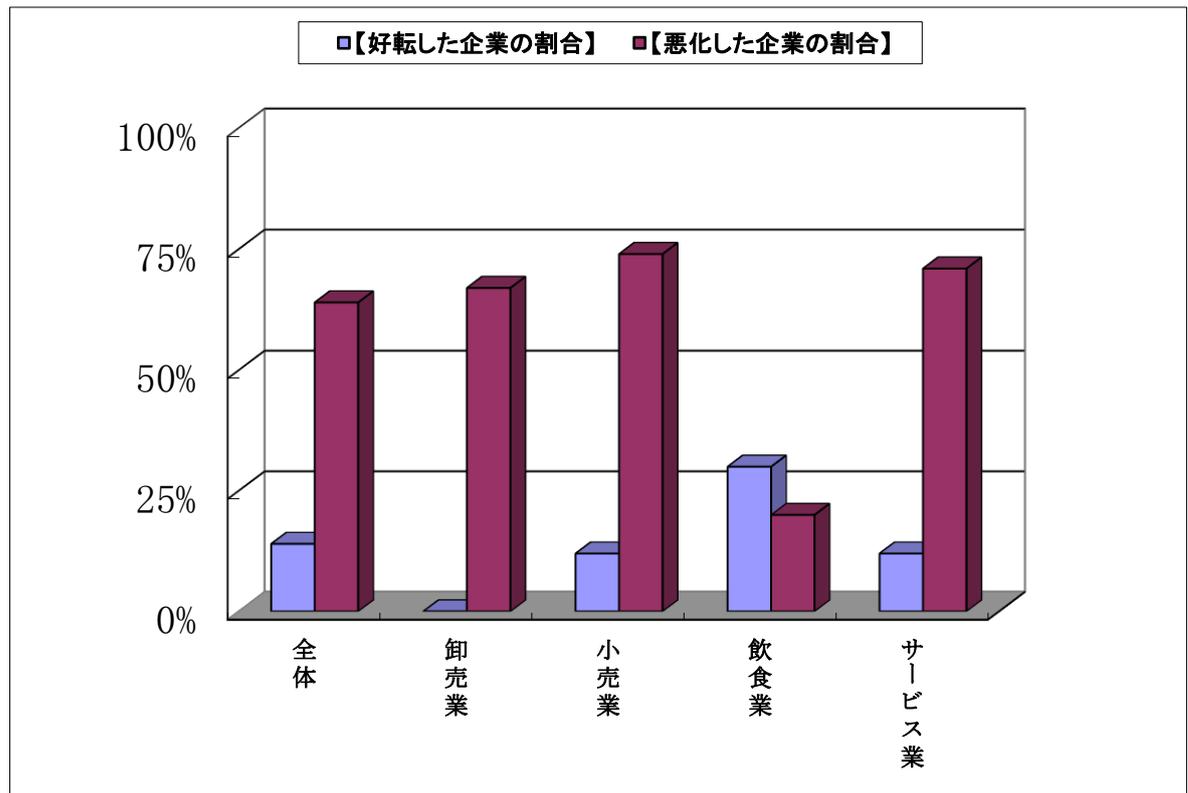


## 業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

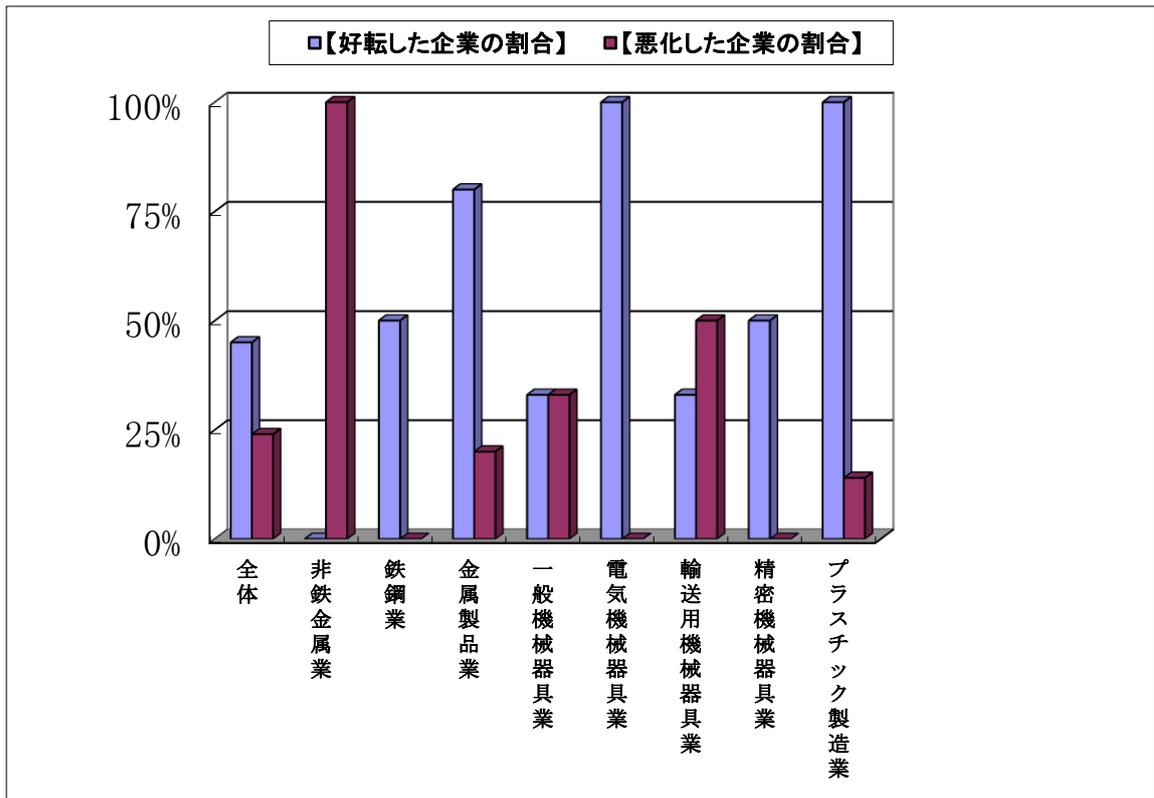
### 【建設業】



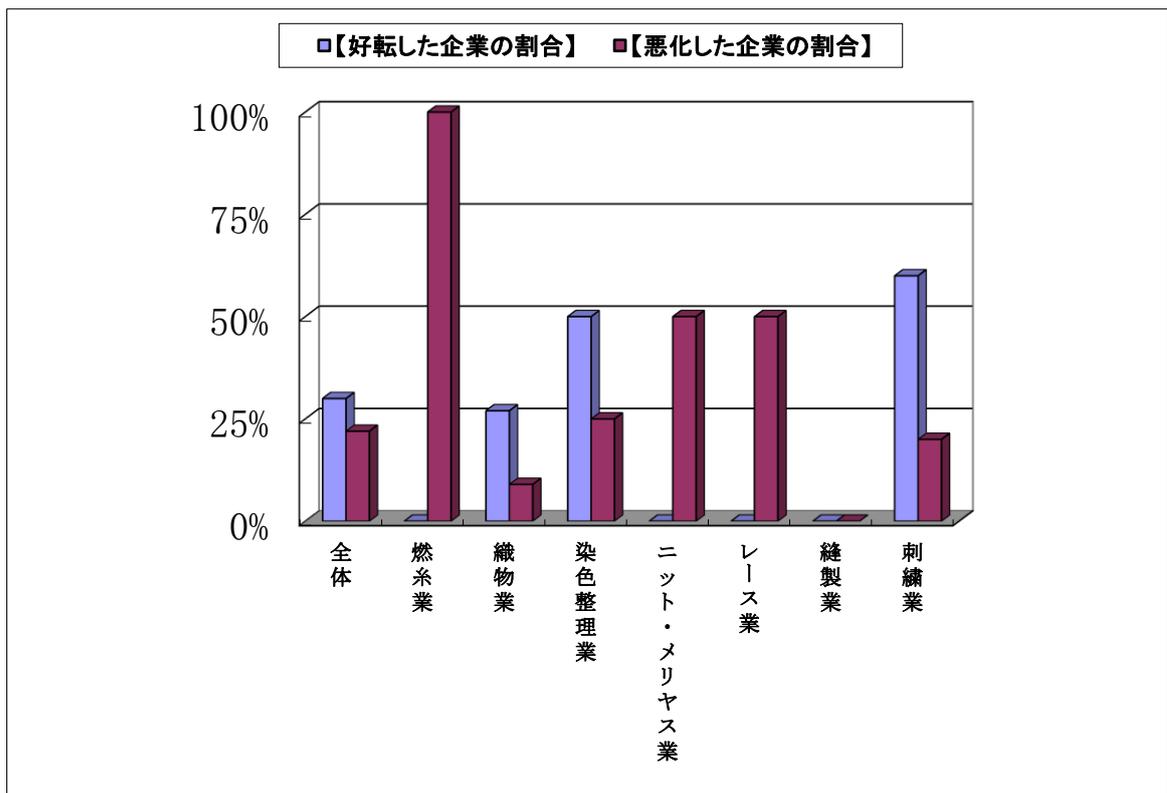
### 【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



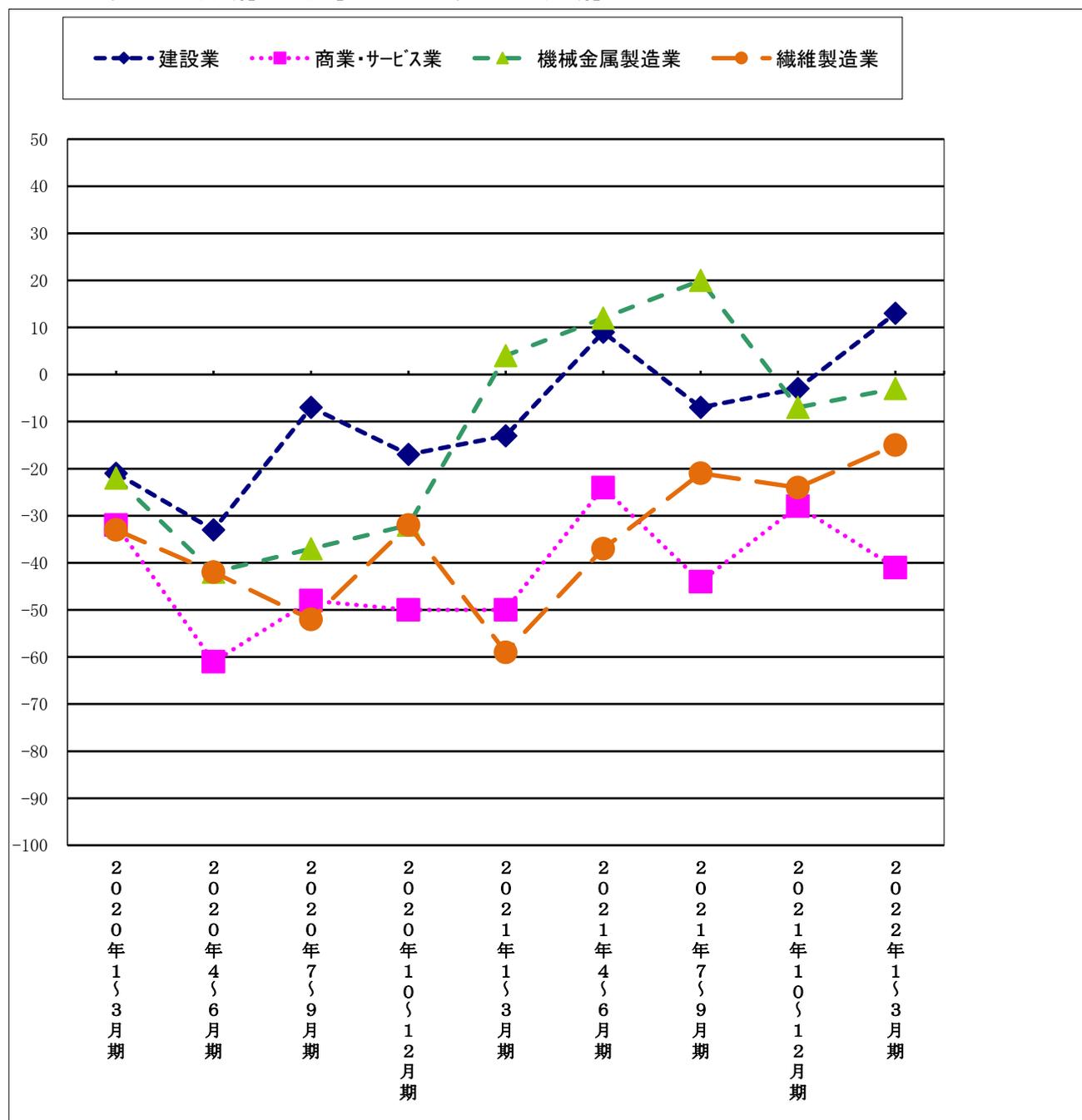
【繊維製造業】



## 資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2020年1～3月期	-21	-32	-22	-33
2020年4～6月期	-33	-61	-42	-42
2020年7～9月期	-7	-48	-37	-52
2020年10～12月期	-17	-50	-32	-32
2021年1～3月期	-13	-50	4	-59
2021年4～6月期	9	-24	12	-37
2021年7～9月期	-7	-44	20	-21
2021年10～12月期	-3	-28	-7	-24
2022年1～3月期	13	-41	-3	-15

[2020年1～3月期] から [2022年1～3月期]



## 今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 20.0	材料の入手難 16.7	需要の停滞 15.0	従業員の確保難 13.3	熟練技術者の確保難 8.3
前期	1位 23.8	3位 13.8	2位 17.5	5位 7.5	4位 8.8
前年同期	6位 7.0	8位 2.3	1位 18.6	3位 16.3	1位 18.6
商業・サービス業	需要の停滞 16.5	材料等仕入単価の上昇 16.5	消費者ニーズの変化への対応 14.6	購買力の他地域への流出 7.3	従業員の確保難 6.1
前期	1位 17.1	3位 11.2	2位 14.4	6位 5.3	4位 8.0
前年同期	1位 25.4	10位 3.5	2位 14.1	4位 6.3	5位 4.9
機械金属製造業	原材料価格の上昇 23.3	製品単価の低下・上昇難 11.6	従業員の確保難 11.6	需要の停滞 9.3	生産設備の不足・老朽化 8.1
前期	1位 21.3	2位 12.5	3位 11.3	3位 11.3	5位 7.5
前年同期	3位 12.2	1位 17.6	8位 5.4	2位 16.2	4位 10.8
繊維工業製造業	需要の停滞 21.3	原材料価格の上昇 21.3	製品単価の低下・上昇難 12.0	熟練技術者の確保難 8.0	生産設備の不足・老朽化 6.7
前期	1位 25.4	2位 16.9	4位 11.3	6位 7.0	5位 8.5
前年同期	1位 31.0	4位 10.3	5位 8.6	9位 1.7	3位 12.1

## 事業所からのコメント（直面している問題点など）

### 〔建設業〕

- ・需要が伸び悩みの中、材料価格の大幅な上昇、入手難に苦慮している
- ・材料費、石油関連、人件費等の経費上昇のため工事の採算にマイナス傾向
- ・材料の手当が不透明（納入時期の遅れ、納期不明）
- ・先行きが見通せない

### 〔商業・サービス業〕

- ・ワクチンの3回目の接種が進まないと人が動いてくれない。厳しい状況はまだ続いていく
- ・コロナ感染者拡大により市内の来客数の減少。販売方法の再考の余地あり
- ・ロシアのウクライナ侵攻で原油価格上昇や日本経済全般に対する影響が心配
- ・全体的な不況感はしばらく続くものと思われ、各社の忍耐力にかかっている
- ・人的交流の停止
- ・病院、介護施設等のほとんどが立ち入り制限中で積極的営業ができない。病院、施設系列ショップに客はすべて流れてしまうという圧倒的不利な状況。また東南アジアからの輸入関連商品が長期にわたって入手できない
- ・コロナにより宴会が戻らない状況はかなり厳しい。至急に事業転換を行う

### 〔機械金属関連業〕

- ・自動車関連は半導体の部品不足で生産が大きく減少している
- ・半導体供給不足等による売上低迷は先行き不透明であり事業計画を設定しづらい
- ・部品入荷が難しく対応に苦戦している。受注残を抱えている部品が購入できず作れない

### 〔繊維工業〕

- ・年明けから原糸価格、加工費の値上げが続いており、受注への影響がでかねない
- ・コロナ渦によるイベントの中止は、他に代替えする方法が見つからない。小さなことにも思いを入れてこの難局を乗り切ること、この場面に全てを掛けようと思切